

第84回 幼児のための新世紀学習会のご案内

2015年4月から子ども・子育て支援新制度が始まりました。それぞれの園で子どもを預かる時間が長くなるということは、子どもたちの生活が園で送ることになります。そのことはこれまで以上に園での「保育の質」を高めることが課題となってきます。

それには「保育を開いたものにしていく」ことが重要だと思われます。1つは、自園の保育・教育のカンファレンスのもち方、2つはそれを多くの人に触れるようにすることです。それによって保育をより良いものにしていく可能性が広がっていきます。

今回は「保育におけるドキュメンテーションの活用」(ななみ書房)、「認定こども園における保育形態と保育の質(仮)」(ななみ書房)を執筆された請川先生、高橋先生が来道する機会にその意義、可能性、実践などをたっぷり語っていただこうと思っております。また、北海道からの実践として恵庭幼稚園の小坂先生に発表をお願いしました。

通常金曜日の夕方開催を今回は土曜日開催とさせていただきます。

また、学習会後はシンポジストの先生方懇親会も予定しております。懇親会ご希望の方はその旨ご連絡をお願いいたします。

日時 2017年2月4日(土) 13:30~16:30

シンポジウム 「保育の質を考える」

シンポジスト 小坂 善朋氏 (恵庭幼稚園)

請川 滋大氏 (日本女子大学 家政学部児童学科 准教授)

高橋 健介氏 (東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻准教授)

場所 札幌市生涯学習センター ちえりあ 3階 研修室5・6

地下鉄東西線宮の沢駅直結 徒歩5分 (西区宮の沢1条1丁目1-10 TEL011-671-2200)

活動参加費 1000円(通常500円ですが、今回経費がかかりますので、特別料金としました。ご了解ください)

シンポジウムの内容

「保育におけるドキュメンテーションの活用」(ななみ書房)2016年

小坂氏 「自園の保育で大切に考えていること」

恵庭幼稚園の生活は、私にとって“道”のように感じる事があります。子どもたちはこの道を通り、みつけ・繋げ・得たものを表現していきます。自園の取り組みを通じて、“何を大切に伝えていきたいのか”と考える一助となればと思います。

請川氏 「保育の質とは何か」

保育の質にはいくつかのレベルでの課題がありますが、今回は子どもたちの日々の経験に直接かわる「プロセスの質」について考えていきます。この「プロセスの質」を高めていくために、ドキュメンテーションは有効に働きます。

高橋氏 「写真や動画を用いたドキュメンテーションの活用と“保育の質”」

写真や動画を用いたドキュメンテーションによって保育が開かれ、その開かれた関係性によって“保育の質”を高めていくことができるのか、その可能性について検討してみたいと考えています。



かっこう幼稚園 中村まで
自宅 FAX 011-884-7686
中村の E-Mail : t.nakamura@kmh.biglobe.ne.jp

新世紀学習会 第84回学習会 申し込み用紙 (2017年2月4日開催分)

No.	ご氏名	所属	懇親会希望
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

FAX あるいは E-Mail でお申し込みください。